

志望理由書(ワーク型)原稿用紙

B面 志望さんぼう

高校名	①都立東京第一学園 高校					志望先記入欄(学部・学科(コース)名まで記入)			
学 年	3 年	クラス	2 組	出席番号	14	氏 名	東京 太郎	問題番号	

1. ワーク 【1】～【4】の設問に答えてください。

あなた	志望先
【1】将来の目標 ○ ・子どもたちから親われる保育士	【2】身につけるべきこと ○ ・保育士資格 ・複数分野にわたる知識 ・子どもたちと触れ合う経験
【3】現在のあなた ○ ・子供が好き ・中学生の時、保育の職場体験をした ・子どもによってできることやできないこと、反応や感じ方が様々 ・現場の保育士は一人ひとりに応じた対応で子どもたちに親われていた	【4】志望先の魅力・特長 ○ ・アドミッションポリシーが「個性豊かな人間教育」 ・緑豊か ・充実した実習施設によって、実践的な力の習得が可能

2. 記 述 ワークの【1】～【4】の内容を基に、600字以内で志望理由書を作成してください。 ※通常の志望理由書は裏面(A面)原稿用紙に書いてください。

私は②子どもが好きで、将来保育士を目指しているのので、
⑦「個性豊かな人間教育」③を掲げる④御校の家政学部保育学科を志望します。
③中学生の時、職場体験で保育園に行きました。⑤もともと子どもが好きだったので、実際に折り紙工作⑥などに取り組んでみると、教えた通りすぐできる子や、できなかったりする子があり、まったく興味を示さない子、怒り出す子までいました。⑦その時、現場の保育士の⑧友はそれぞれの子どもに応じた指導を行い、到達目標まで行けるよう分かりやすく教えていたので、とても⑦親われていました。この体験から、保育士として働く⑨ためには⑩色々な個性が異なる子どもたちに対応できるよう、複数分野にわたる知識や、実際に子供たちと触れ合う経験の蓄積が必要であると思⑩いました。
④御校のオープンキャンパスに参加した際、⑬構内が広々としていて緑も豊かで、⑭すごく良い環境だと思いました。⑮こうした環境で⑯なら、集中して勉強に取り組めると思っています。また、施設見学ツアーで案内を⑰担当した先輩が、実習のための⑱施設が充実しているので、在学中に実践的な力を身に付けられると話しているのを聞き、そういう点も⑲御校の魅力だと感じ⑲ました。
④御校で学ぶことで、様々な個性を持った子供たちの保育に必要な知識と経験を積みたいです。そして、⑲子どもたちから⑲親われる保育士になりたいと思っています。

- <添削欄>
- ① 高校名は「東京都立東京第一学園 高等学校」と正式名称で記入します。
 - ② 「子どもが好き」という内容は、保育士志望の動機として 説得力に欠けます。子どもを嫌いだという保育士はいないはずだからです。
 - ③ かざったこの 位置に 注意しましょう。
 - ④ 「御校」は、口頭試験で用いる言葉です。文章では「貴学」「貴校」を用います。志望先が大学、短期大学の場合は「貴学」、専門学校の場合は「貴校」とします。
 - ⑤ ①内 4～5行目 1行目の内容と重複します。削りましょう。
 - ⑥ 「～など」は、複数の事例を挙げる際に 使います。
 - ⑦ 1文の長さは 40～60字以内におさめます。この1文は 保育士を志したきっかけに過ぎないので、簡潔にまとめましょう。
 - ⑧ 尊敬語、謙敬語は 不要です。
 - ⑨ × 誤字「したう」→「慕う」
 - ⑩ × 送り仮名の誤り ○「働く」
 - ⑪ 話し言葉ではなく 書き言葉で表し、この場合、「個性が異なる～」と続くので「様々な」「多様な」などを用いる 必要は ありません。
 - ⑫ 「思います」「思いました」では 説得力に欠けます。 断定しましょう。
 - ⑬ ～線部 学校の 外見的特長ではなく 内面的な長所・特長を 示せるとよいです。
 - ⑭ ①内 主観的な内容です。次の文で 具体的に示しているの、①内は削りましょう。
 - ⑮ 句読点「、」は 行頭に置くことができません。 前行末のマスと文字と一緒に 600字書き。⑯ 文体を 統一します。

構成・段落	A	文章全体を適切に構成できている 文章全体の構成がよいである 文章全体の構成が不十分である
表記・総合評価	C	①文字(丁寧さ・大きさ・読みやすさ) a 丁寧さ・大きさ・読みやすさ 適切に書かれている b 丁寧さ・大きさ・読みやすさ やや読みにくい c 丁寧さ・大きさ・読みやすさ 読みにくい ②文法・文意 a 文法・文意 適切に書かれている b 文法・文意 適切に書かれている c 文法・文意 適切に書かれている d 文法・文意 適切に書かれている ③書き方のルール(原稿用紙の使い方・漢数字・記号・学校名など) a 書き方のルールが守られている b 書き方のルールが守られている c 書き方のルールが守られている d 書き方のルールが守られている ④文章表現(文法・語句・漢字・敬語・表現など) a 適切な文章表現がされている b 適切な文章表現がされている c 適切な文章表現がされている d 適切な文章表現がされている

字数	A	91～100% 81～90% 71～80% 61～70% 61%未満 / 字数オーバー
内容	C	①志望動機の明確さ a ワークの内容を基に、明確に示している b ワークの内容を基に、おおむね明確に示している c 明確でない・ワークの内容を基に書けていない ②志望先の理解度 a ワークの内容を基に、志望先への理解度を十分にアピールできている b ワークの内容を基に、志望先への理解度をおおむねアピールできている c 志望先の理解度が不十分である・ワークの内容を基に書けていない ③自己分析 a ワークの内容を基に、十分に分析できている b ワークの内容を基に、おおむね分析できている c 分析できていない・ワークの内容を基に書けていない ④意欲 a 示すことができている b 示すことができる c 示すことができていない ※「2.記述」の内容を評価・添削の対象としています。

志望先の情報収集に努め、ワーク【4】で具体的な項目を挙げられるよう 再度 取り組んで みましょう。

【ワーク欄】

・記述内容を添削・評価するための指標となります。

・評価・添削の対象は記述欄の文章ですので、この欄内の記入内容自体は評価の対象ではありません。

・設問文からの逸脱、空欄、また誤字・脱字など表記上の誤りに対する指摘を行います。

【記述欄（左）／添削欄（右）】

・記述欄にて、評価欄の評価項目に基づいて内容・表記両面の誤りを指摘・修正します。

・添削欄にて、記述欄の修正内容に関する解説をします。

・ワークを反映した箇所に関して、指摘すべき点があれば添削欄にて行います。

【所感欄】

・文章全体における改善点や今後の復習方法についてアドバイスします。

・ワークの内容と照らし合わせながら、文章の改善点や復習方法を提示します。

内容を構成する要素に課題があれば、該当するワークに立ち戻り、再考・復習を促します。

例：志望先への理解が表面的です。

ワーク【4】を活用し、情報を収集・整理しましょう。

【評価欄】

「内容」：①志望動機の明確さ、②志望先の理解度、③自己分析、④意欲

の4つの観点から、ワークを根拠に説得力のある自己PR文を記述しているかを評価します(①～③は、ワークの内容を記述に反映していることを

「b」以上の評価を得るための前提としています)。

「字数」：600字以内という制限字数で、記述状況の評価します。

「表記」・「構成・段落」：評価基準は見本の通りです。